

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月14日		記入者	川島和章	連絡先	5229
平成18年度部名	生涯学習部		課名	文化財保護課	課長名	大貫英明
平成19年度部名	生涯学習部		課名	文化財保護課	課長名	大川貴市
事務事業名	勝坂遺跡保存整備事業					
予算上の事務事業名	勝坂遺跡保存整備事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	16220		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第6章 彩りのある市民文化を創造します					
基本施策名	第2節 郷土意識づくりの推進					
施策名	第2施策 文化財の保存と活用					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
文化財保護法、県文化財保護条例、市文化財の保存及び活用に関する条例						
3 個別計画の概要				概要		
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント			5 事業開始年度	平成15年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					(2) 対象（誰、何）	
史跡勝坂遺跡の保存・活用を目的に、勝坂遺跡と周辺の歴史・文化の魅力をアピールするとともに、今後、史跡整備を進めるなかで、パートナーシップによる史跡活用を目指して行うもの。					市民	
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
「勝坂縄文まつり」の開催 平成18年11月11日（土）午後1時から4時（当日雨天）						
参加者 100人 主な内容 ①遺跡見学会 史跡整備を目的とした発掘調査中の竪穴住居跡や敷石住居跡を公開 ②縄文土器の野焼きの実演 ③新磯小学校の小学生が製作した土器の展示と発表 ④石器づくりの講習 ⑤周辺文化財の探訪 ⑥勝坂遺跡周辺の自然の散策 ⑦勝坂遺跡A区の植栽事業						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
類似事業として、史跡田名向原遺跡の発信事業があり、自治会を中心とした史跡活用の実行員会を組織して「田名向原遺跡へようこそ」事業を展開している。今後、地域や多くの市民へのPRを通じて、地域が主体となった史跡の活用によるまちづくり事業を目指している。						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	6,874	6,126	5,716	12,700	19,712	
一般財源	3,312	3,290	3,492	6,328	10,712	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	3,562	2,836	2,224	6,372	9,000	
人件費の合計	4,035	4,025	4,025	4,025	4,025	
事業コスト合計	10,909	10,151	9,741	16,725	23,737	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	勝坂縄文まつり			対象名称 と単位	参加者人数(人)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	360	300	600	600	600	
対象数	260	170	100	200	200	
単位あたり経費(円)	1,385	1,765	6,000	3,000	3,000	
前年度比		1.27	3.40	0.50	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの						

指標名と単位	参加者数 (人)	指標式と指標の説明	参加者数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	260.0	170.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	200.0	200.0
目標達成度 (%)	260.0	170.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	参加者の満足度	指標式と指標の説明	事業内容に満足した人*100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	100.0	100.0	90.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度 (%)	100.0	100.0	90.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価 (一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]	：良好な状態を維持する事業			
	[★★★★]	：概ね良好な状況である事業			
	[★★★]	：見直しを行う必要がある事業			
	[★★]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価 (今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実	市民は、自らの視点で地域の歴史や文化を捉え、文化財の活用や地域振興のために行動しようとしている。パートナーシップによる史跡活用をさらに定着させていく必要がある。		
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
遺跡整備を進めるためには、地域の理解と協力が必要であるため、自治会、学校、地域サークル・団体、文化財調査普及員等との連携を広げ、市民へのPRを充実する。			遺跡の整備の推進と地元の学校や自治会等との連携を図っていく必要がある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価 (今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実	遺跡の保存を進めるとともに、地域の活力を生かした遺跡の有効活用を図る。		
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			